



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月7日

上場会社名 太陽誘電株式会社

上場取引所 東

コード番号 6976 URL <http://www.ty-top.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 登坂 正一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営企画本部 (氏名) 福田 智光  
副本部長

TEL 03-6757-8310

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	247,046	5.9	36,080	31.0	38,132	29.3	26,853	35.8
2022年3月期第3四半期	262,510	18.5	52,299	72.5	53,934	82.2	41,859	111.1

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 30,193百万円 (36.7%) 2022年3月期第3四半期 47,681百万円 (107.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	215.50	214.81
2022年3月期第3四半期	333.39	332.41

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	496,416	320,019	64.3	2,560.50
2022年3月期	474,522	300,286	63.1	2,403.20

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 319,059百万円 2022年3月期 299,460百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		40.00		40.00	80.00
2023年3月期		45.00			
2023年3月期(予想)				45.00	90.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	315,000	9.9	31,000	54.6	32,500	55.0	20,000	63.2	160.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	130,218,481 株	2022年3月期	130,218,481 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	5,610,165 株	2022年3月期	5,609,656 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	124,608,620 株	2022年3月期3Q	125,558,892 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
決算説明会にて使用した資料等については、開催後速やかに当社のホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
3. 補足情報 .....	8
(1) 製品別売上高 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日まで)における当社グループを取り巻く経営環境は、世界景気は緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、地政学リスクの増大などによる原材料費、物流費の上昇や、新型コロナウイルス感染症対策として一部地域で実施された大規模ロックダウンによって社会経済活動が停滞した時期がありました。先行きについては、感染症の動向や国際情勢、世界的な金融引締めが進む中での金融資本市場の変動や需要環境の動向を注視する必要があります。

当社グループは、中期経営計画2025に掲げた目標の実現に向けて自動車、情報インフラ・産業機器を中心とした注力すべき市場の売上比率を50%に高めることを目指しています。さらに、ハイエンド商品、高信頼性商品を中心とした高付加価値な電子部品を創出し、主力事業の積層セラミックコンデンサのさらなる成長に加え、インダクタと通信デバイスを強化してコア事業として確立していきます。また、需要拡大に対応するための継続的な能力増強に加え、環境対策やIT整備に向けた積極的な取り組みを実施し、5年間で3,000億円規模の設備投資を計画しています。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は2,470億46百万円(前年同期比5.9%減)、営業利益は360億80百万円(前年同期比31.0%減)、経常利益は381億32百万円(前年同期比29.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は268億53百万円(前年同期比35.8%減)となりました。一部地域におけるロックダウン、世界経済の減速懸念などによるパソコンやスマートフォン、データセンターなどを中心とした生産台数の減少や在庫調整などにより、売上高及び各段階利益が減少しました。

当第3四半期連結累計期間における期中平均の為替レートは1米ドル134.68円と前年同期の平均為替レートである1米ドル110.53円と比べ24.15円の円安となりました。

製品別の売上高は次のとおりであります。

#### [コンデンサ]

積層セラミックコンデンサなどが含まれます。

当第3四半期連結累計期間は、自動車、情報インフラ・産業機器向けの売上が前年同期比で増加しましたが、民生機器、情報機器、通信機器向けの売上が前年同期比で減少したことにより、売上高は1,608億89百万円(前年同期比6.5%減)となりました。

#### [インダクタ]

巻線インダクタ、積層インダクタなどの各種インダクタ商品が含まれます。

当第3四半期連結累計期間は、情報インフラ・産業機器向けの売上が前年同期比で減少しましたが、民生機器、情報機器、通信機器、自動車向けの売上が前年同期比で増加したことにより、売上高は421億18百万円(前年同期比13.2%増)となりました。

#### [複合デバイス]

モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)、回路モジュールなどが含まれます。

当第3四半期連結累計期間は、モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)、回路モジュールの売上が前年同期比で減少したことにより、売上高は247億94百万円(前年同期比33.5%減)となりました。

#### [その他]

アルミニウム電解コンデンサ、蓄電デバイスなどが含まれます。

当第3四半期連結累計期間は、自動車向けを中心にアルミニウム電解コンデンサの売上が前年同期比で増加したことにより、売上高は192億43百万円(前年同期比20.4%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対して218億93百万円増加しました。そのうち流動資産は32億90百万円減少しており、主な要因は、商品及び製品の増加94億36百万円、仕掛品の増加72億11百万円、現金及び預金の減少129億48百万円、受取手形及び売掛金の減少106億50百万円であります。また、固定資産は251億84百万円増加しており、主な要因は、有形固定資産の増加255億23百万円、投資その他の資産の減少5億21百万円であります。

負債は21億61百万円増加しました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加139億24百万円、短期借入金の増加100億円、長期借入金の増加20億37百万円、支払手形及び買掛金の減少102億24百万円、未払法人税等の減少137億30百万円であります。

純資産は197億32百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益268億53百万円と剰余金の配当105億91百万円による、利益剰余金の増加162億61百万円、及び円安等の為替影響による為替換算調整勘定の増加30億16百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。(前年同期比)

	連結累計期間
売上高	315,000百万円 (9.9%減)
営業利益	31,000百万円 (54.6%減)
経常利益	32,500百万円 (55.0%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	20,000百万円 (63.2%減)

当第3四半期連結累計期間の実績及び今後の需要予測等に基づき、2022年11月7日に公表した通期業績予想を修正いたしました。

当第3四半期連結会計期間は、電子機器の生産減や在庫調整、一部地域におけるロックダウンなどにより、電子部品の需要が減速しました。第4四半期連結会計期間につきましては、パソコンやスマートフォンなどを中心とした生産台数の減少や在庫調整などにより、電子部品の需要環境は前回予想時点の想定より悪化することが見込まれます。また、各国で金融引締めが進む中で金融資本市場の変動や世界経済の減速、新型コロナウイルス感染症の影響など予断を許さない状況であります。

なお、ロシア・ウクライナ両国において、当社グループの拠点、重要な顧客やサプライヤーはありません。両国向けの売上高は僅少であり、業績に与える直接的な影響は軽微であると想定しております。また、新型コロナウイルス感染症につきましては、第4四半期連結会計期間は特段の影響が発生しない前提としています。

第4四半期連結会計期間の期中平均為替レート的前提は、1米ドル130円です。

## ※ 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想は、将来に関する現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。さまざまな潜在的リスクや不確定要因により、実際の業績が記載された予想数値と大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	92,570	79,622
受取手形及び売掛金	86,585	75,934
商品及び製品	29,504	38,941
仕掛品	44,243	51,454
原材料及び貯蔵品	23,033	23,164
その他	6,981	10,542
貸倒引当金	△311	△341
流動資産合計	282,607	279,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	120,596	127,919
機械装置及び運搬具	335,309	353,914
工具、器具及び備品	33,773	36,028
土地	15,179	15,801
建設仮勘定	28,603	42,396
減価償却累計額	△348,527	△365,598
有形固定資産合計	184,936	210,459
無形固定資産		
その他	1,340	1,522
無形固定資産合計	1,340	1,522
投資その他の資産		
投資有価証券	1,505	1,536
その他	4,132	3,580
投資その他の資産合計	5,637	5,116
固定資産合計	191,914	217,098
資産合計	474,522	496,416

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,828	22,604
短期借入金	20,200	30,200
1年内返済予定の長期借入金	4,035	17,959
未払法人税等	13,967	236
賞与引当金	5,890	2,304
役員賞与引当金	679	75
その他	29,412	30,901
流動負債合計	107,013	104,283
固定負債		
長期借入金	48,749	50,786
役員退職慰労引当金	31	37
退職給付に係る負債	5,315	5,861
その他	13,126	15,428
固定負債合計	67,222	72,113
負債合計	174,235	176,397
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,575	33,575
資本剰余金	49,908	49,908
利益剰余金	221,178	237,439
自己株式	△13,454	△13,456
株主資本合計	291,207	307,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	518	542
繰延ヘッジ損益	△190	35
為替換算調整勘定	8,246	11,262
退職給付に係る調整累計額	△321	△247
その他の包括利益累計額合計	8,252	11,592
新株予約権	826	959
純資産合計	300,286	320,019
負債純資産合計	474,522	496,416

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	262,510	247,046
売上原価	167,568	168,404
売上総利益	94,942	78,641
販売費及び一般管理費	42,643	42,561
営業利益	52,299	36,080
営業外収益		
受取利息	243	479
受取配当金	23	51
為替差益	1,235	1,176
助成金収入	341	563
その他	261	193
営業外収益合計	2,106	2,465
営業外費用		
支払利息	289	335
休止固定資産減価償却費	61	27
その他	119	50
営業外費用合計	470	413
経常利益	53,934	38,132
特別利益		
固定資産売却益	96	151
投資有価証券売却益	497	-
その他	91	-
特別利益合計	686	151
特別損失		
固定資産除売却損	359	643
減損損失	56	4
その他	115	59
特別損失合計	531	707
税金等調整前四半期純利益	54,090	37,576
法人税、住民税及び事業税	12,088	8,269
法人税等調整額	141	2,453
法人税等合計	12,230	10,723
四半期純利益	41,859	26,853
親会社株主に帰属する四半期純利益	41,859	26,853



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	41,859	26,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△517	24
繰延ヘッジ損益	39	225
為替換算調整勘定	6,211	3,016
退職給付に係る調整額	88	74
その他の包括利益合計	5,821	3,340
四半期包括利益	47,681	30,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,681	30,193

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 製品別売上高

製品区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		増減	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
コンデンサ	172,031	65.5	160,889	65.1	△11,142	△6.5
インダクタ	37,207	14.2	42,118	17.0	4,910	13.2
複合デバイス	37,288	14.2	24,794	10.0	△12,494	△33.5
その他	15,982	6.1	19,243	7.8	3,260	20.4
合計	262,510	100.0	247,046	100.0	△15,464	△5.9